

# LINE@限定無料レポート



マインドトレーダーYUU LINE@登録ありがとうございます。

これからトレードを頑張ろうとしている皆さんに僕のマインドが  
皆さんの1つの参考や選択肢になれば幸いです。

ここでは僕が相場分析で使っているサイクル理論となぜ使うのか理由を付けてお伝えします。

## 目次

- ・ 外国為替とは
- ・ YUU 的トレードの考え方
- ・ サイクル理論
- ・ サイクルの種類と期間
- ・ サイクルの形
- ・ サイクルの特性その 1
- ・ サイクルの特性その 2
- ・ サイクルの特性その 3
- ・ トレード
- ・ マインドセット
- ・ 優位性まとめ
- ・ 最後に

## 外国為替とは

「**Foreign Exchange**」の略で、通常「外国為替証拠金取引」のことをいいます。

異なる2つの通貨の①売買による収益や、②スワップポイント(※)による収益を得ることを目的として取引を行う金融商品です。

僕も含め多くの市場参加者は①を目的としている事が多いです。

通貨単位の異なるお金、例えば円を米ドルやユーロに替える、あるいは米ドルやユーロを円に替えるという取引行為が、外国為替取引です。

通貨の交換といっても、「いくら分の円で1米ドルと交換できる」といったように、通貨を交換する際の比率が存在します。この交換比率のことを「為替レート」といいます。「1ドル=100円」という場合は、「100円を出せば1ドルが買える」、あるいは「1ドルを売ることによって100円が戻ってくる」ことを意味しています。

為替レートは、いろいろな通貨に対して常に価格が形成されています。米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円、英ポンド/円というように、

対円で表示されるものもあれば、米ドル/ユーロ、米ドル/豪ドルなど、対円以外で表示されているものもあります。世界中にはさまざまな通貨があり、それぞれがいろいろな通貨と取引され、そこに為替レートが形成されているのです。

## 取引できる時間

外国為替市場は、世界各国で取引が行われているため、FX は 24 時間お取引（土日、メンテナンス時間を除く）いただけます。

1 日を日本時間でみると、午前 5 時にニュージーランドのウェリントン市場で取引が始まり、午前 9 時から東京市場、その後は香港、シンガポールなどのアジア市場、というように順次取引が始まり、午後 3 時から欧州市場、そして午後 9 時から、ニューヨーク市場での取引が活発化し、そのまま翌日のウェリントン市場へと引き継がれていきます。

このように、世界各国でとぎれることなく取引が行われるため、FX では通常月曜日の朝から土曜日の朝まで 24 時間いつでも取引が可能です（土日、メンテナンス時間を除く）。

## 証拠金とは

外国為替証拠金取引（FX）を始める際は、まず「証拠金」を FX 会社に預託する必要があります。

証拠金とは、ある種の「担保」とお考えいただいていいでしょう。では、なぜ担保が必要なのでしょう。

FX は、預託した証拠金の数倍の金額をお取引できる金融商品です。

FX 会社に預託した証拠金に対して数倍のお取引ができる理由は、一定の時期において売戻しまたは買戻しを行なう前提で、

決済時には取引の差金部分だけの資金があれば、取引が可能となる仕組みだからです。

なので、証拠金を担保として事前に入れ、その範囲内で取引を行っていく事になります。これが FX の基本的なメカニズムです。

## レバレッジとは

レバレッジとは FX における重要な要素の 1 つです。

簡単に言うと少額でも大きなリターンを狙える仕組みです。

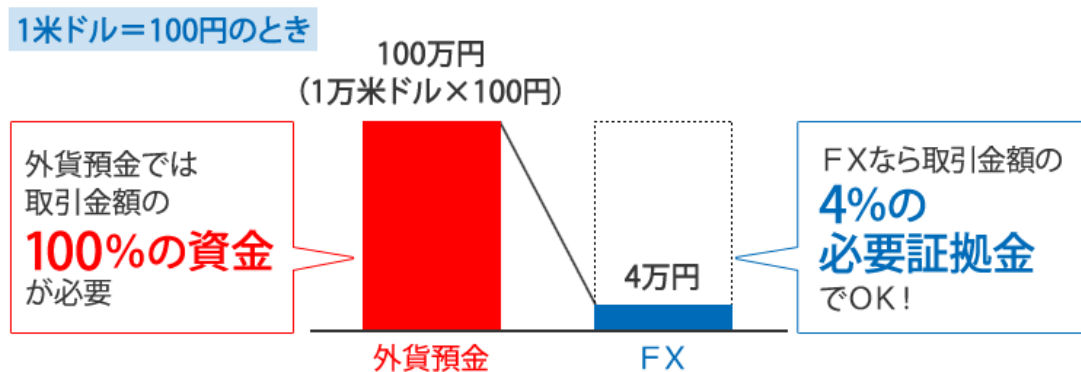
レバレッジとは、預け入れた証拠金を担保にして、その何倍もの金額の取引ができる仕組みのことをいいます。

(国内業者の場合、最大レバレッジ 25 倍まで)

例えば、外貨預金で 1 万米ドルを購入しようとした場合は、100 万円が必要となります。(1 米ドル 100 円で計算)

しかし、FX ではレバレッジという仕組みがあるため、「取引をするための証拠金」である最低 4 万円の証拠金を預け入れることで、同額の 1 万米ドルを買うことができるのです。

(「レバレッジ 25 倍」の場合)



## レバレッジの注意点

レバレッジを高くすると、投資資金に比べて大きな金額の取引が可能となるため、大きな収益を得られることがある半面、大きな損失を被ることもあるという事です。

重要な事は自分の投資目的やそのリスク等を理解し、  
FX に慣れていない段階では、レバレッジを低めにし、取引額も小さいところから始めて、自分でリスクを十分コントロールすることができるようになってから、レバレッジを引き上げることをお勧めします。

## 強制ロスカットとは

強制ロスカットとは「FX 会社の取引ルール（ロスカット・ルール）に基づいて強制的に執行される決済のこと」です。通貨ペアを保有し、一定の証拠金維持率になると自動的に保有中の通貨が決済されてしまうことをロスカット（強制決済）と言います。なお、強制ロスカットをされる証拠金維持率は FX 会社によって違いがあります。

## FX 会社のロスカット比較一覧

実は、ロスカット・ルール は FX 会社によって違いがあります。以下をご覧ください。

↓クリックで FX 会社の口コミ・評判へ

- ・ **GMO クリック証券**：証拠金維持率 50%未満
- ・ **ワイジェイ FX**：証拠金維持率 50%を下回った時
- ・ **SBI FX トレード**：証拠金維持率 50%を下回った場合
- ・ **Dmm FX**：証拠金維持率が 50%以下
- ・ **外為どっとコム**：証拠金維持率 100%以下



- ・ ヒロセ通商 (Lion FX) : 証拠金維持率 100%未満
- ・ みんなの FX ( 트레이ダーズ証券 ) : 証拠金維持率 100%以下

これは国内 FX 各社のロスカット基準比率です。証拠金維持率がこれより下回った段階で強制決済が執行されるという事です。

### 強制ロスカットの例

USD/JPY レートが 100 円の時に 10 万通貨買ったとします。

レートが円安に向かうと予測して買ったものの、レートは予想と反対方向へ。

次第に円高へ向かい、レートはついに 97 円に。その時点でロスカットレベルに達し、保有中の USD/JPY10 万通貨が自動的に決済され、損失 30 万円が確定しました。

こんな目には遭いたくありませんが、これがいわゆるロスカットの一例となります。どの FX 口座を利用しても、一定のレベルに達すると必ずロスカットが実行されます。主な理由は、FX トレーダーの損失をなるべく小さくすることです。

## 証拠金維持率の計算法

証拠金維持率とは、時価評価総額に対する必要証拠金の割合のこと  
で、以下の計算式で求めることができます。

$$\bullet \text{時価評価総額} \div \text{必要証拠金} \times 100 = \text{証拠金維持率}$$

証拠金維持率 50%の SBI FX トレード で取引したと仮定しましょう。

USD/JPY レートが 1 ドル 100 円の時に 1 万通貨取引すると、必要証拠金は 4 万円となります。取引を始めた時、口座内資金が 10 万円だとすると…

$$\bullet \text{時価評価総額 } 10 \text{ 万} \div \text{必要証拠金 } 4 \text{ 万円} \times 100 = \text{証拠金維持率 } 250\%$$

証拠金維持率は 250%となります。しかし、レートが予想と反対方向に進み、含み損が膨らんでいったとすると・・・

$$\bullet \text{時価評価総額 } 2 \text{ 万円} \div \text{必要証拠金 } 4 \text{ 万円} \times 100 = \text{証拠金維持率 } 50\%$$

時価評価総額が 10 万から 2 万円になる、つまり USD/JPY レートが  
「100 円 - 8 円 = 92 円」 になった時に ロスカット になる計算に  
なります。

## チャートとは

為替チャート・FX チャートとは、過去の為替レートを、価格や時間を軸としてグラフに書き表したものです。過去の為替レートを視覚化することで、相場の流れを把握することが可能となります。過去をもとに将来を予測したり、見た目の形から今後を予測したりできます。

## ローソク足の見方

(1) ローソク表示によりその期間の価格の変動具合は簡単にわかる  
1 本のローソクには、一定期間における 4 つのレート(価格)が含まれています。その期間(5 分、1 時間、1 日など)の最初のレートの「始値」、該当する期間中の最も高いレートの「高値」、最も低いレートの

「安値」、最後のレート「終値」の4つの値です。

この4つの値を一般的の4本値といいます。

## (2) ローソク足はレートの期間の取り方で呼び方が変わる

ローソク足はレートの期間の取り方で呼び方が変わり、例えば、1日の動きを表すものは「日足」ローソク、1週間に動きを表すものは「週足」ローソク、1ヵ月を表すものは「月足」ローソクと呼ばれます。

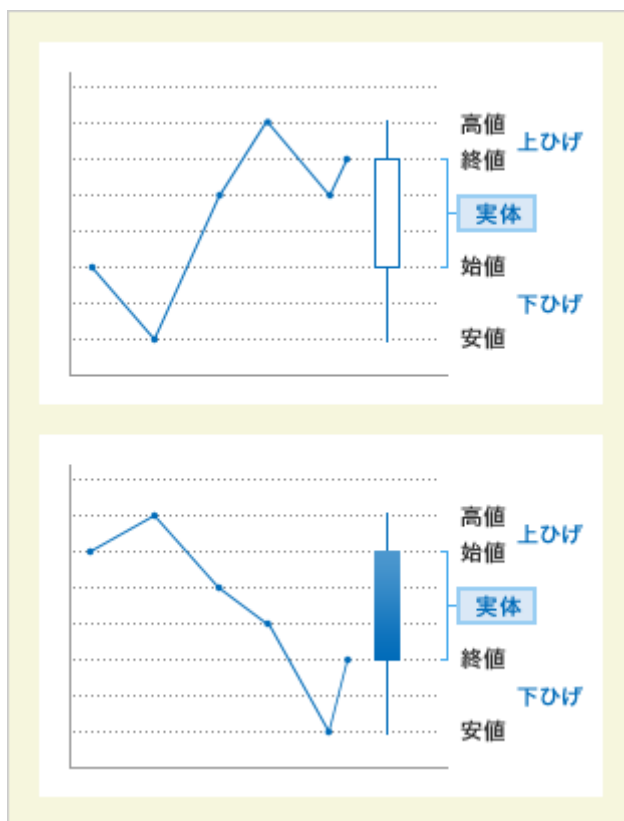
## (3) ローソク足は「実体」と「ひげ」の2つでできている

「実体」とは、始値と終値にはさまれた長方形の部分を指します。始値より終値が高い場合、「実体」の内部は白抜きで表示します。これを「陽線」と呼びます。反対に、始値より終値が低い場合は黒塗りで表示し、「陰線」と呼んでいます。また高値や安値が「実体」から外れた上下に伸びた直線を「ひげ」といいます。さらに、上に突き出す線を「上ひげ」、下に突き出す線を「下ひげ」と呼んでいます。

「実体」の縦幅が長いほど、始値と終値の値幅が大きかったことを意味します。また陽線ならばその日の始値より終値が高かったことを示し、陰線ならばその日の始値より終値が低かったことを示します。

#### (4) ローソクの見方

ローソク足の一例として、上昇相場においてローソクが長い上ひげを持ち、それが連日、続く場合は、相場が天井を形成しトレンドが転換してしまう可能性が高いといわれています。また 2 本のローソクの間隔が開いてしまっている状態は、一般に「窓が開いた」状態といわれ、後ろのローソクが上に開いている場合は上昇圧力が強く、下に開いている場合下降圧力が強くなっているといわれます。



## 分析の種類

相場を分析する方法は大きく分けて2つ存在します。

### ・テクニカル分析

テクニカル分析とはずばり、過去の値動きをチャートで表して、そこからトレンドやパターンなどを把握し、今後の株価、為替動向を予想するものです

テクニカル分析の中でも2つに分かれます。

#### ①トレンド系

相場の方向性を判断するもの。

移動平均線やボリンジャーバンドなど

#### ②オシレーター系

相場の売られすぎ、買われすぎを判断するもの。

RSI やストキャスティクスなど

## ・ファンダメンタル分析

相場の大きな方向性を掴むために景気動向、金融政策、財政政策等の変化が市場全体にどのような影響を及ぼすのかを分析するものです。また、個別銘柄を選定するために、ニュース、決算説明書類などを読んで、企業収益が、増えるか減るか、増え方や減り方はどのくらいか、それは一時的か、恒常的か、将来は？などの分析に対して、現在の株価が高いか、安いか、を判断する方法です。現在は、ネット上で簡単に、ファンダメンタル指標（PER,PBR など）も入手することが可能なため、以前よりは個人投資家でも分析が容易になりました。

ここまでの外国為替における基本中の基本です。

全くの初心者の方はまずこれを理解してください。

## トレードの考え方

トレードは確率論である事を理解する

僕のトレードの考え方の部分です。

勝っているトレーダーは全勝しているわけでも、未来が分かるわけでもありません。

勝ちと負けの合計で勝っているという事。

トレードとは未来に対してポジションを持つ行為なので、絶対などは存在しません。

絶対勝てる手法は存在しないという事。

トレードとは自分が相場に対してどれだけ効率よく高い確率を取れるかどうかという事。

確率の中でトレードをどれだけ合理的に行えるかどうか

これらがトレーダーの力だと僕は思っています。



僕は、相場は自然だと思っています。

トレードとは大自然の中の長期サバイバルだと思っています。

今日食糧（利益）を得たいと思っても、

今日獲物に出会えるか、狩れるかは別問題です。

食料を得たいなら自分なりの獲物を見つける力（分析）武器（手法）

を身に着け、狩る確率を上げる必要がありますよね。

当然、失敗（損失）する日もあります。

僕はいまだに1度も失敗（損失）したことない人に出会った事はありません。

ません。

当然ですよね、どこまで行っても確率の世界なので(^^)

ならば失敗（損失）はするものと受け入れて、

失敗の仕方、大けがする前に逃げる事が重要だという事です。

失敗（損失）するなら、当然体力（資金）管理も考えなくてはなりません。

そして自然同様の相場では災害（予期せぬ動き）も起こります。

そんな中でどう生き残るかです。

僕ら個人の力では相場の世界を支配（トレンドを作る事）はできません。

できる術は適応することだけです！

常に変動する相場の中でその瞬間あなたの取れる、  
買う、売る、待つ、の3択からベストを選べるかです。

このベストを選ぶ精度を高める為の手法や分析、資金管理です。

自分のお金を増やしたいという感情や願望でトレードするのではなく。

相場という不確定な動きから、

持っている体力（資金）知識（分析）、武器（手法）

これらを持って確率を測り、

自分がチャートを見る時チャンスと捉えればトレードする。

これを理解し、行えて初めてトレーダーだと思っています。

なので、トレーダーの9割は負けているといわれていますが、

正確には市場参観者の8割のギャンブラーと1割のトレーダーが負けている。

と、自論ですがこのように思っています。

成功法など無くトレードをするのは自分であると理解して、

トレードを自分で考え、経験し、改善する事が重要です。

自分の勝ち方も、負け方も自分の中にしかなく、

自分の資金に対してどれだけのリスクをとるのか？

ここまで出来てトレーダーです。

自分をどれだけ理解し自分で考えられるかも重要な素質の1つです。

相場というものは一定の不確実性があり、  
市場参加者の欲望や感情で動きます。

未来に対しての人の欲望や感情を予測する事は不可能である以上ど  
んなトレードにもリスクは存在し、  
このリスクを抑えて合理的に資産を気づくことが本来のトレードで  
このために手法がある事を多くの方が認識していません。

なので、聖杯を探したり、手法をころころ変えたりしますが、  
誰でも100%勝てる手法など存在しません。

手法自体にそこまでの力は無く使いこなせて初めて力を発揮するも  
のなのでこれをまず理解する必要があります。

## サイクル理論

サイクル理論とは、レイモンド A メリマンが提唱した理論です。

相場は一定の間隔でサイクルを形成する。というものです。

これが繰り返し起こる現象の事です。

具体的に言いますと一定の期間で、

底・起点（安値）→ 天井（高値）→ 底・起点（安値）

を形成するというものです。

サイクルの底・起点（安値）は天井（高値）から 1 番安い安値の事です。

サイクルの底（安値）が次のサイクルの起点になります。

起点（前回サイクル底）→天井（高値）→底（次サイクル起点）



このようなイメージです。

前回サイクルの底が今回のサイクルの起点

今回のサイクルの底が次のサイクルの起点という事です。

## サイクルの種類と期間

サイクルにはそれぞれの時間に基準の本数があります。

4時間サイクル（4H サイクル）

60～80本で1つのサイクルを形成します。

日足サイクル（メジャーサイクル）

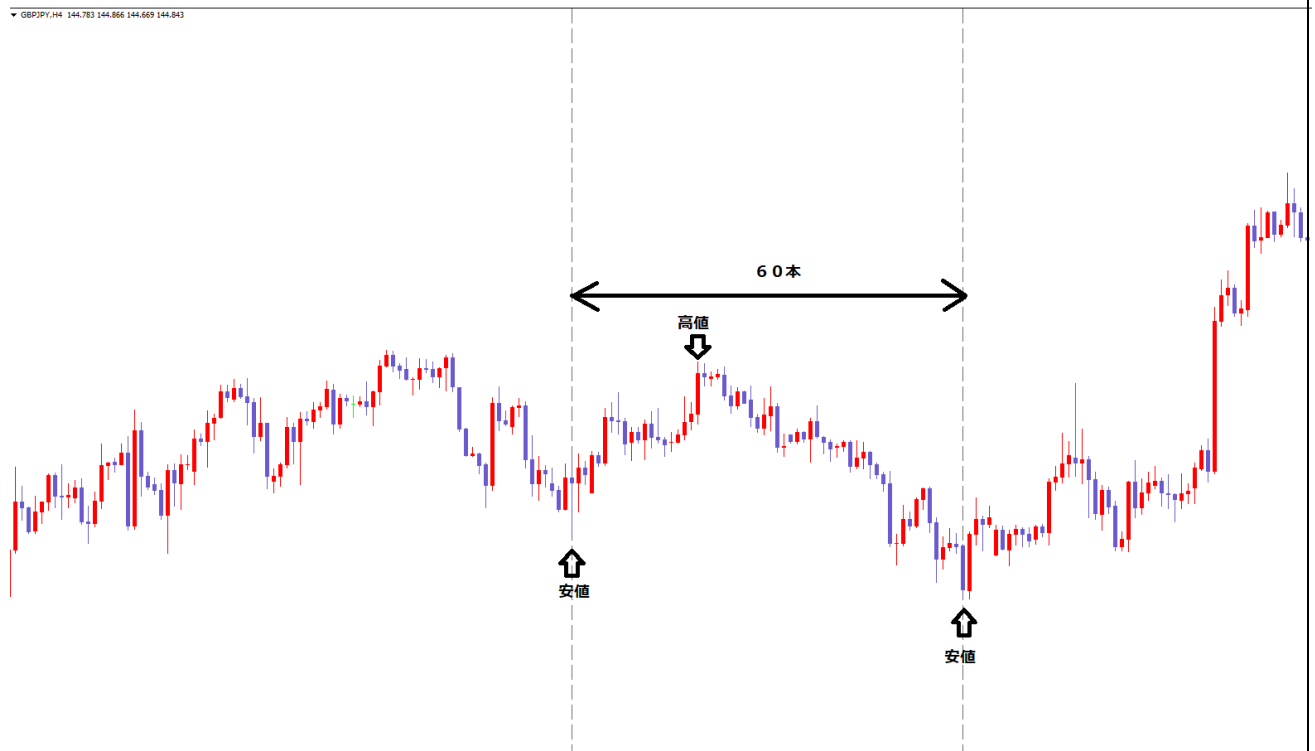
35～45本で1つのサイクルを形成します。

週足サイクル（プライマリーサイクル）

24～35本で1つのサイクルを形成します。

などがあります。

その名の通りそれぞれの時間軸におけるサイクルの事です。



画像は4時間チャートです。このサイクルは60本で完結しています。

この4Hサイクルは、ちょうど60本のサイクルです(^^)

ただ相場の世界に100%は存在しないので当然この理論も絶対ではありません。

この範囲に収まるのは80%と言われています。

相場の世界では十分ですね(^^)



## サイクルの形

サイクルには形というものがあり、それを「トランスレーション」と呼びます。

この形を判断する事でトレンドを判断できます。

なので、トレードの優位性を判断する上で重要な要素です。

- ・ライトトランスレーション

サイクル中央より右側で天井を付け、起点より上で底を付ける形

- ・レフトトランスレーション

サイクル中央より左側で天井を付け、起点より下で底を付ける形

4時間サイクルの目安としては、

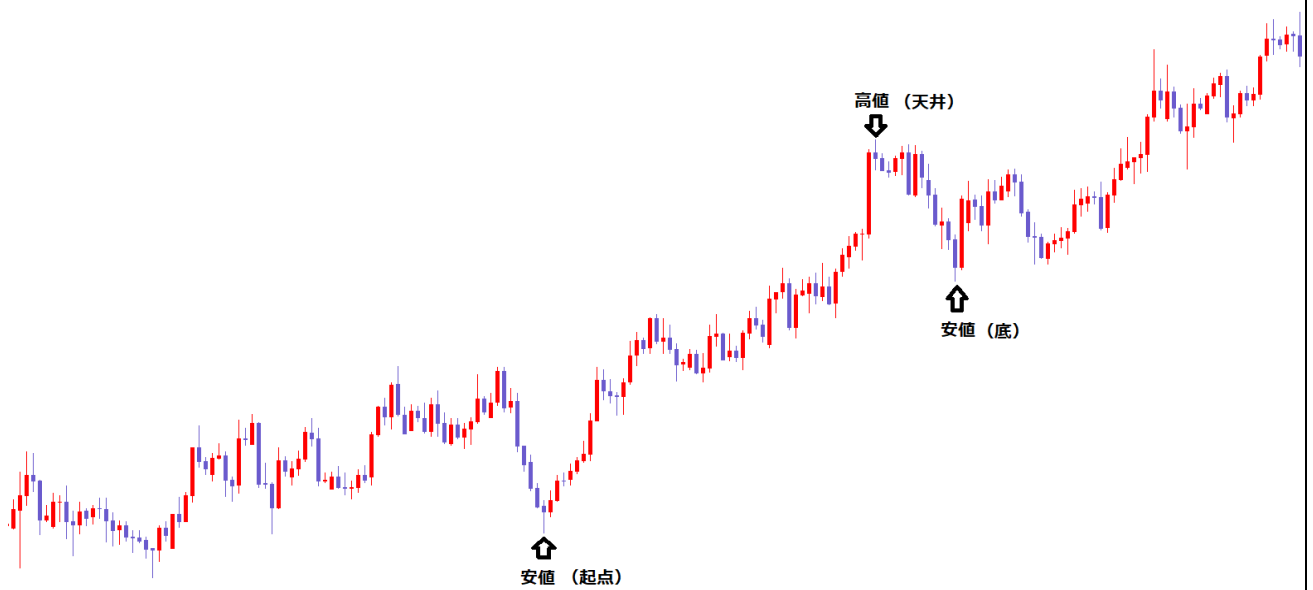
ライトトランスレーションの場合、40本以上

レフトトランスレーションの場合、30本以内

となります。

## ・ライトトランスレーション

▼ EURJPY/H4 126.823 127.055 126.763 126.976



画像は4時間チャートです。 このサイクルは63本で完結しています。

天井（高値）が中央より右側に位置し、

起点（安値）より上で底（安値）を付ける形です。

ロングの優位性が高い形です。

- ・レフトトランスレーション



画像は 4H チャートです。このサイクルは 70 本で完結しています。

天井（高値）が中央より左側に位置し、  
起点（安値）より下で底（安値）を付ける形です。

ショートの優位性が高い形です。

サイクルにはこの 2 種類の形が存在します。

## サイクルの特性その 1

1つの上位足サイクルの中に下位足サイクルが 3～4 つ形成するとされています。

逆に言えば、下位足のサイクルが 3～4 つ形成すれば上位足のサイクルが 1 つ形成されるという事です。

つまり、

1つの週足サイクルの中には日足サイクルが 3～4 つ形成される。

1つの日足サイクルの中には 4 時間サイクルが 3～4 つ形成される。

という事ですね。

## サイクルの特性その2

上位足サイクルの形によって中に入る3～4つの下位足サイクルの形に基準があります。

- ・上位足サイクルがライトトランスレーションの場合

中の下位足サイクルが、

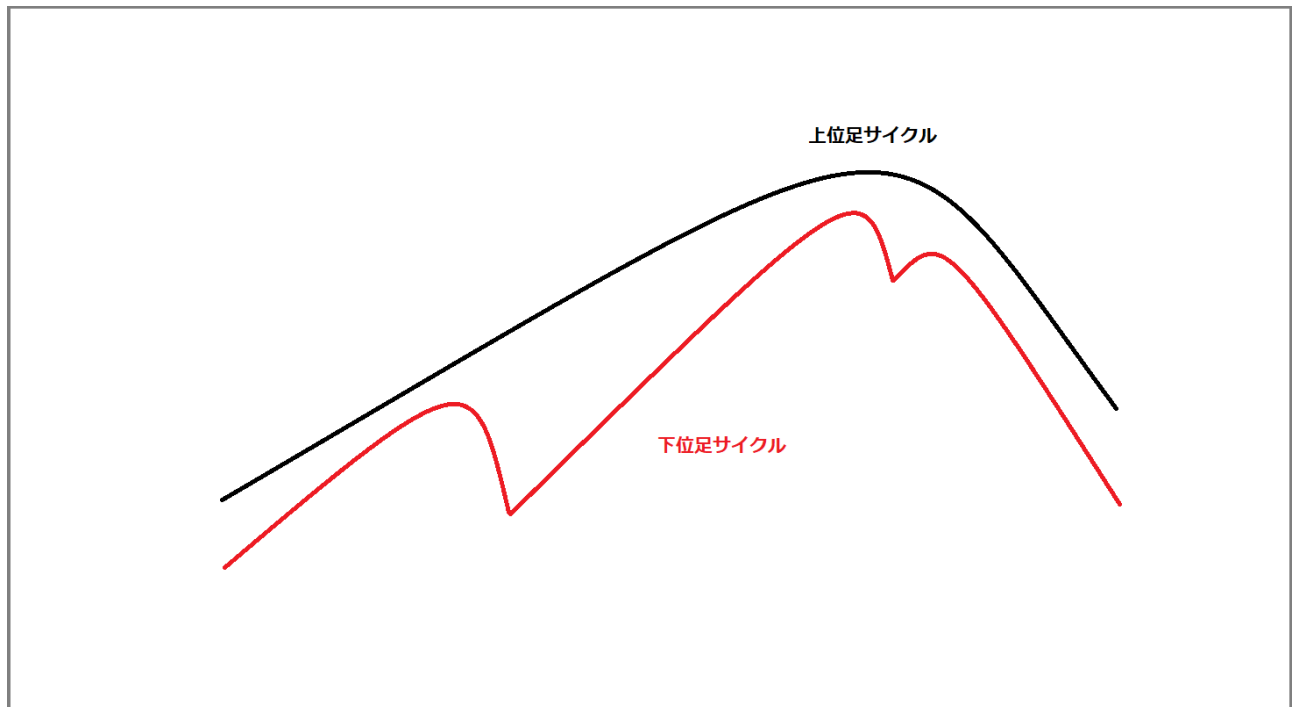
3つの場合

ライトトランスレーション→ライトトランスレーション  
→レフトトランスレーション

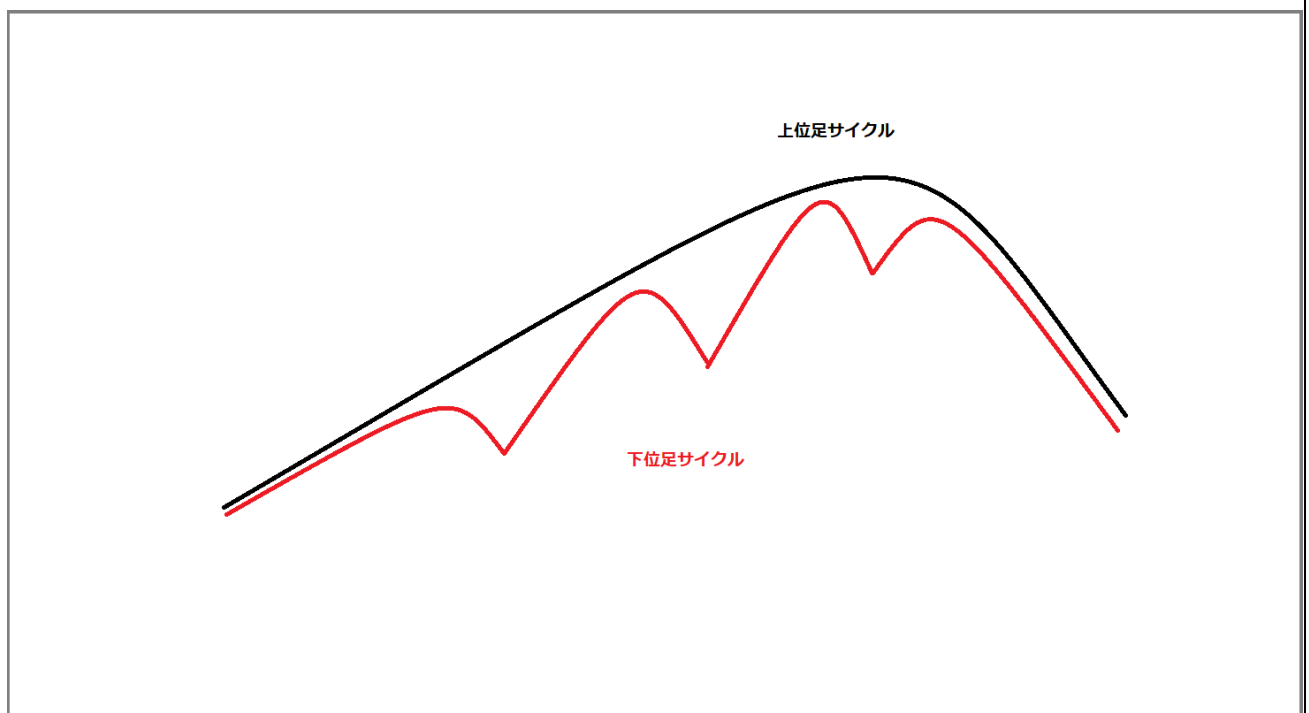
4つの場合

ライトトランスレーション→ライトトランスレーション  
→ライトトランスレーション→レフトトランスレーション  
となります。

中の下位足サイクルが3つの場合はこんなイメージです。



中の下位足サイクルが4つの場合はこんなイメージです。



- ・ 上位足がレフトトランスレーションの場合

中の下位足サイクルが、

3つの場合

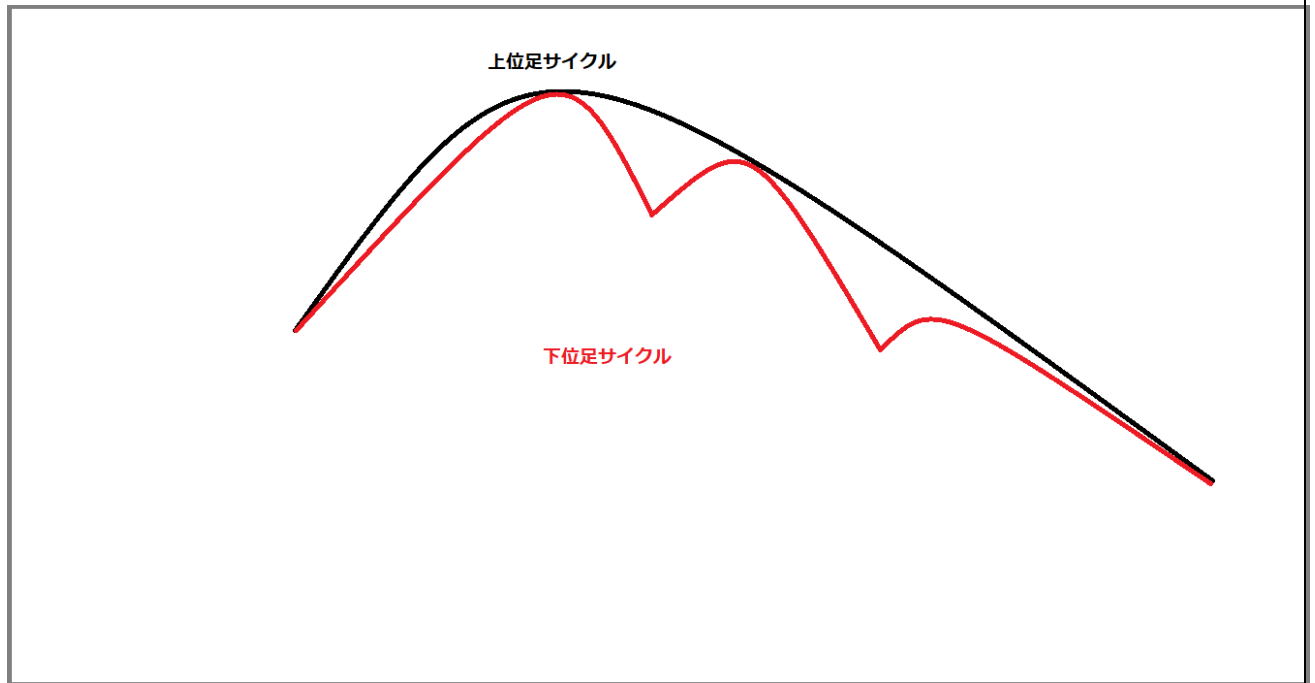
ライトトランスレーション→レフトトランスレーション  
→レフトトランスレーション

4つの場合

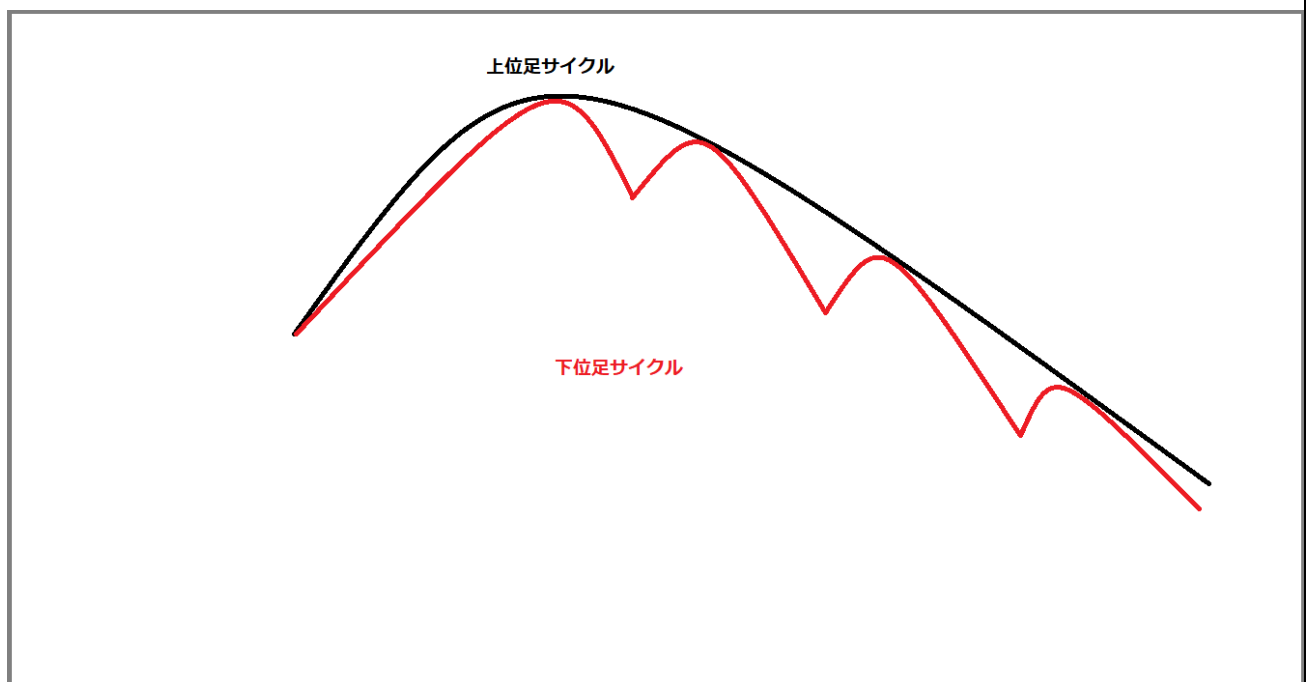
ライトトランスレーション→レフトトランスレーション  
→レフトトランスレーション→レフトトランスレーション

となります。

中の下位足サイクルが3つの場合はこんなイメージです



中の下位足サイクルが4つの場合はこんなイメージです。





補足ですが、

上位足サイクルの起点、天井、底は中の3～4つの下位足も同じです。

① 上位足サイクル起点は、1つ目の下位足サイクル起点。

② 上位足サイクル天井は、形によって変わりますが、

- ・上位足がライトトランスレーションの場合、

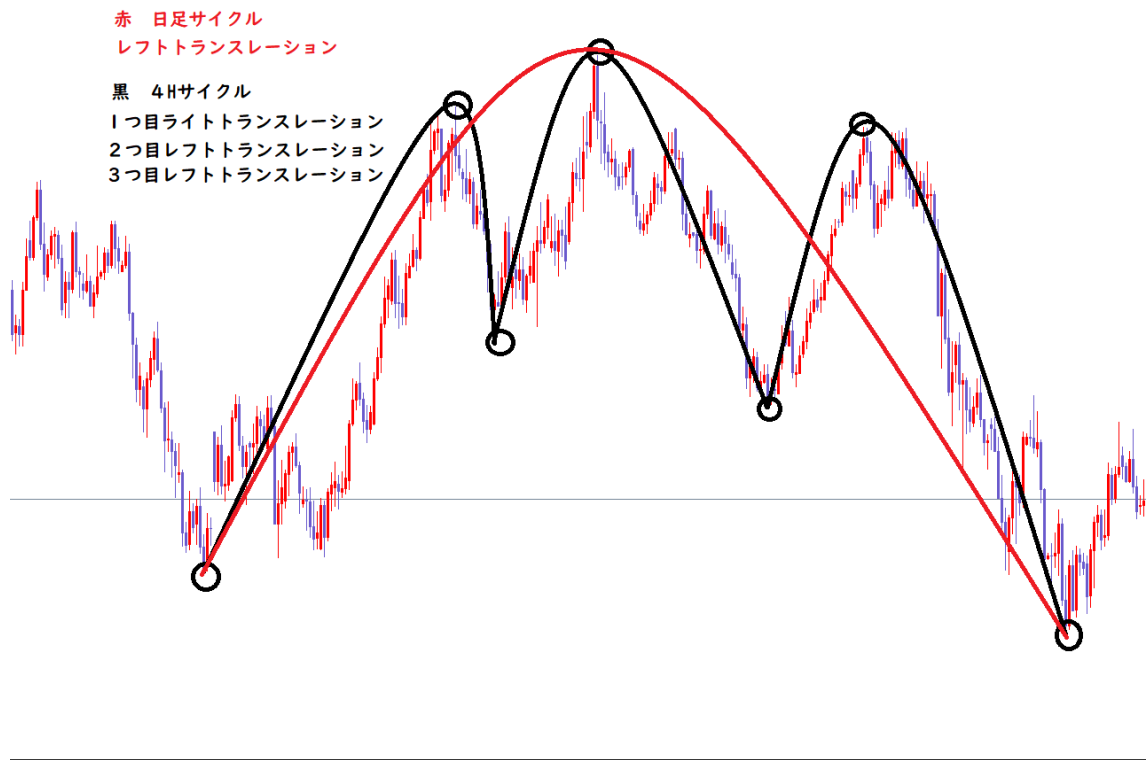
2つ目か3つ目の下位足サイクル天井。

- ・上位足がレフトトランスレーションの場合、

1つ目か2つ目の下位サイクル足天井。

③ 上位足サイクル底は、3つ目か4つ目の下位足サイクル底。

という事になります。



画像は4時間チャートです。

画像は、日足サイクルの中に3つの4時間サイクルが入っています。

4時間サイクル

1つ目 ライトトランスレーション

2つ目 レフトトランスレーション

3つ目 レフトトランスレーション

日足サイクル レフトトランスレーション

### サイクルの特性その3

先ほど述べたようにこのサイクルは80%の確率で当てはまると言われています。

逆に20%は当てはまらないという事です。

この20%の現象はサイクルの短縮や延長です。

その名の通り

サイクルが基準の本数より、少なく又は多く底を付けるという事です。

これは上位足サイクルが底をつけるタイミングで

中の3～4つ目の下位足サイクルに起こりやすいとされています。

当然これら以外の時に発生する事もあります。

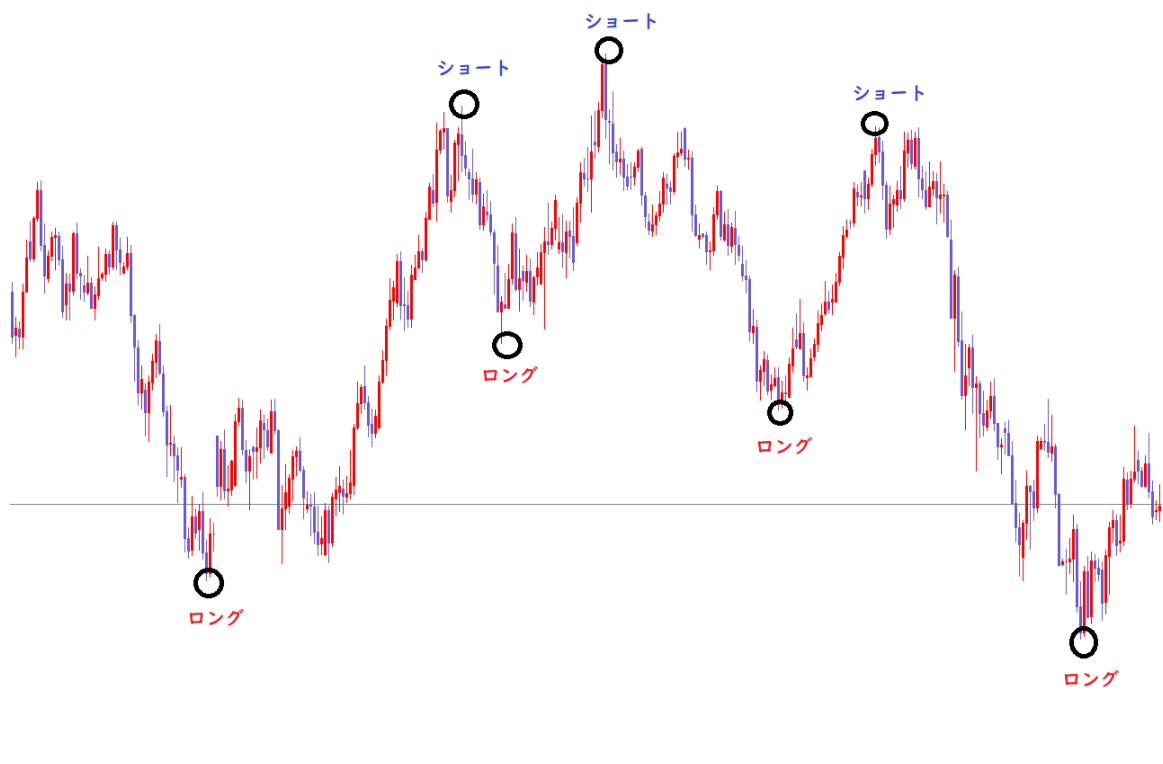
## トレード

これまでサイクル理論の説明を行いましたが、  
僕の使い方について話していこうと思います。

僕はスイングトレードがメインです。

難しい事は考えません。

底付近なら買い、天井付近なら売りです。



画像は4時間チャートです。

## エントリー

サイクル理論で見たエントリーポイントはこうなります。

当然全て取る事は難しいですが、

皆さんがトレードをする時、

トランスレーションの判断とエントリーをできるだけこの位置に近づけてエントリーする事を意識してください。

まず上位足サイクルから分析します。

週足から見て、日足、4時間足と順に見ていきます。

そして4時間足でトレードします。

日足が底を付けたタイミングなら次の4時間足はライトトランスレーションの可能性が高くなるのでロングの優位性は高くなり、できるだけ底付近でロングエントリー狙いになります。

僕は4時間サイクルでトレードする事が多いです。

次サイクルがライトトランスレーションの可能性が高いのであれば  
ロングを狙います。

次サイクルがレフトトランスレーションの可能性が高いのであれば  
ショートを狙います。

このように優位性の高い方に絞ってトレードします。

## 損切り

基本底や天井で判断し、トレードするので、

例としては買いなら底の下、売りなら天井の上に設定します。

トレードを組み立てる時は損失から考えていきます。

最初は損失額を証拠金の1～3%以内で抑えるようにしてください。

例) 資金が10万円の場合、損失3千円

損切りまでの pips に対してロットを調整しエントリーしてください。

10万円の証拠金で損切りまで30 pips の場合、

大体1000通貨という事ですね。

あくまで例なので絶対ではありませんし、

デモなど試して自分の勝率を出してみても、慣れてくればもう少しリ

スクをとる事も考えていけばいいと思います。

底、天井や形から判断するので、損切り位置を決め利確の目安まで決められるのでリスクリワードも考えやすいです。

重要な事は底や天井を判断し、優位性の高い位置でエントリーし保有する事です。

トレードは待つことも仕事です。

タイミングをしっかり待つ事も意識してくださいね(^^)

イメージは小さく負けて、小さく負けて、大きく勝つ！です。

最大の利点は利確までイメージしてトレードできるので感情リスクを抑えやすい事です！

サイクル理論で分析すれば順張りも逆張りも可能ですし、

レンジ相場でしっかり保有しきる事も簡単になると思います。



## 利確

相場に 100%はないのでこれが正解というものは無いので、  
この利確ポイントを測る為にインジケーターや水平線、トレンドライン、平行チャネルなどを用いる事が多いです。  
あくまでこれらも可能性を測るもので絶対ではないので、  
基準として使う事を意識してください。

ここで僕の考えですが初めの内は、  
エントリーポイントを底や天井に引き付ける事を意識して、  
慣れるまでは、損切りまでの pips の何倍まで行けば必ず一部利確すると決めてトレードして見ると思います。

エントリー位置をしっかり引き付けていけば、  
100 pips ぐらいの利益を出す事はそんなに難しくありません。

ただ注意は、損小利大型なのであまりにチキン利食いしすぎると  
損切り貧乏になるので注意が必要です。

ここで重要な事は勝率にこだわる必要はありません。

スイングトレードなので、勝率よりもリスクリワードで利益を出す事をイメージしてください。

損小利大です！

低勝率でもしっかり引き付けてエントリーできれば、  
リスクリワードは1：10も十分可能です。

損切り位置の

トレードはトータルで利益が出ればいいので、分割利確もサイクル理論なら効果は高いです。

この分析で難しいのは、2つ目のサイクルと上位足サイクルが底を付けるタイミングです。

2つ目のサイクルの場合どちらのトランスレーションの可能性もある為です。

上位足サイクルが底を付ける時、中の下位足サイクルは、

レフトトランスレーションを形成する可能性が高くなりますが

これが3つ目なのか4つ目なのかという事です。

なので、僕は基本3つ目のサイクルでのトレードは両建てでトレードを行います。

4つ目のサイクルではレフトトランスレーションの可能性が高くなるのでショートを狙う優位性が高くなります。

基本的にサイクルの形や本数から天井と底を判断し、

良い位置で入れるならエントリーします。

そして大きなトレンドで利益を出すイメージです。

## マインドセット

僕が一番重要だと思っているマインドについてお伝えしておきます。

手法は使いこなすもので、

この使いこなすには経験が必要という事。

この経験の時期で資金を全て失ったりしないように、

まずは経験の時期と自覚してください。

そして必ず自分の問題と向き合うという考えを持ってください。

どんな知識を得たとしても、使うのは自分自身である事を忘れず、

人それぞれ性格や考え方が違います。

だからこそ人それぞれの問題があります。

自分の問題と向き合う事を忘れないようにしてください。

損切りできれば負けてもいいです。

まぐれで勝てても意味はないです。

こんな事で一喜一憂しないように、  
重要な事はルール通り行えたか？と考える事です。

まぐれの勝ちで一生勝ち続ける事は出来ません。  
まぐれで勝てたとしても 1 回の負けで失う事ができるのがトレード  
です。  
稼いでも常にリスクは存在し、いつでも失える事を忘れないでくだ  
さい。

負ける事は悪い事ではありません。  
生涯勝率 1 0 0 %なんてトレーダーは存在しないので、  
どんなプロトレーダーも損切りはします。  
僕もします。

逆に言えば損切りできるからプロな訳です。

重要な事は負けない事ではありません。  
上手く負ける事です。  
損切りも含めてトレードです。

損失というリスクがあるから手法がある事を忘れず、  
常にルールを守れたかどうかで判断するようにしてください。

利確も損切りもルール通りかどうか、  
出来ない事はやらない、やれる事をやるだけと考えていきましょう。

感情を消すという感覚からコントロールするという感覚に変えてください。

感情は人間である以上は消す事は出来ないので、  
消そうとするのではなく、感情が沸いていると自覚する事、  
そして休む事です。

チャンスがあればやる、  
長期的に考えて、焦らない事を忘れないようにしてください。

しっかりとしたルールがなくなればギャンブルになるのがトレード  
です。自己都合による目標は立てないようにしましょう。

## 優位性まとめ

本数や形の基準がある為、トレンドの優位性を測れるという事。

底と天井や形で判断するのでリスクリワードも考えやすい事。

本数と形の基準があるため、エントリーから決済までのトレードの全体像をイメージしやすいという事。

本数と形状から決済までをイメージしてトレードを行えるため、  
ポジションを持ったままチャートを見なくても不安が少なく、  
チャートを見なくて済むという事はそれだけ感情リスクを減らし合理的にトレードを行えるという事。

このサイクルの本数と特性を理解すると、  
トレンドの転換点を掴みやすい事です。

トレードにおいて大衆と同じでは勝つことは難しいです。

トレードはエントリータイミングを見つける事はさほど難しくないですが、

利確タイミングを計るのは難しいです。

いつそのトレンドが終わるのか？

相場には、だましというものも存在します。

これが多くの人達の難題になっているはずです。

つまりトレンドの転換タイミングを底や天井で測った上でトレードできる事は何よりも優位性の高い事です。

高値で買ったり安値で売ったりすることが何よりの大衆である証拠ですよ。

サイクル理論で大衆の逆であるタイミングを作る事が可能です！

スイングトレードは多数派から少数派へ！

相場を区切って見る事でトレードの考え方が変わります。

トレンドの波を捉えてしっかり乗る事ができます！



## 最後に

ここまでサイクル理論の基礎をお伝えさせていただきましたが、

僕は無駄な事が嫌いなので完結にまとめたつもりですが、

上手く伝えられていればいいのですが・・・(^\_^;

僕なりに精一杯まとめさせていただきました。

トレードの世界に絶対はありません。

僕はただ得意とする形を持っているだけです。

このサイクル理論を使って分析し、自分なりの優位性を測った上で

根拠と自信を持ってトレードしているだけです。

ただこの根拠と自信がある事で無駄な事をしない事です。

この無駄をそぎ落としていくのがトレードで成功するための秘訣だ

と思っています。

最終的にトレードするのは自分自身という事は変わらないので、  
使い方次第になりますが、これはどんな手法や理論でもそうです。  
これがトレードの本質です。

ただこの知識は間違いなく相場をシンプルに見る事ができると思います。

厳しい言葉になりますが、負けている人は情報や知識を使いこなせていない事が多いです。

大事なのは自分が感情ではなく相場の動きから合理的にトレードが行えることです。

そのための手法や理論です。

ただこのレポートを読んでいるという事は高い向上心と行動力を持っている方だと思うのでこの情報も使いこなせるはずです。

僕はこのサイクル理論で分析する事でリスクリワードや損切りを  
より合理的に考え、トレードを行えるようになった事で勝てるよう  
になったと思っています。

この情報もあくまで選択肢の1つですが、  
僕のこの考え方やサイクル理論という知識が、  
これを読んでくださっている、できるだけ多くの方の参考や気づき  
になればと思います。

そしてできるだけ多くの方のトレードライフがより良いものなる事  
を願っています。

トレーダーは孤独の世界ですが、僕もまだまだ成長したいと思って  
いるのでこれから一緒に頑張っていきましょう(^^)

これから皆さんの参考や気づきになるような情報を発信していきます  
なので今後ともマインドトレーダーYUU をよろしくお願いします。

※当レポートの情報は個人の意見、感想であり効果を保証するものではありません。  
投資される際には、一切の責任を負いませんのでご了承ください。

※当レポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用等する事を  
禁じます。